

科目名		建築史			
担当教員	熊谷 貴子		実務授業の有無	○	
対象学科	建築デザイン科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	16時間
授業概要、目的、授業の進め方	西洋建築の様式変遷と特徴、建築物、建築家を座学と小テスト等で知識を習得する。 1. 西洋建築の特徴、条件に合わせた設置計画などの重要性を学ぶ。 2. 講義だけでなく、DVDや写真なども取り入れ、視覚的にも理解を深める。 3. 講義→小テスト→解答→解説→習得を繰り返すことで、知識を習得する。				
学習目標 (到達目標)	西洋の建築物の様式変遷と、その特徴・代表的な建築物・建築家を学び、習得する。建築士2級の筆記試験範囲にあたる科目のため、合格点に達する習熟度を目標とする。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	①図説 建築の歴史 (学芸出版社) ②ipadでの補足資料・映像資料				
NO.	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	西洋建築史/1-「建築史」を学ぶということ ①建築の意味 ②西洋と日本の建築 ③・新潟の建築	方法：教科書、資料、DVDを使って説明解説の座学 達成目標：項目①～③を理解する 準備学習：教科書①の予習			
2	西洋建築史/2-オリエントの建築 ①古代メソポタミア ②古代エジプトの建築物	方法：教科書、資料、DVDを使って説明解説の座学 達成目標：項目①～②を理解する 準備学習：教科書①の予習			
3	西洋建築史/3-ギリシア建築 ①ギリシア建築の特徴と構成、 ②オーダーの種類	方法：教科書、資料、DVDを使って説明解説の座学 達成目標：項目①～②を理解する 準備学習：教科書①の予習			
4	西洋建築史/4-ローマ建築 ①古代ローマ建築の工法・技術と建築物	方法：教科書、資料、DVDを使って説明解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習			
5	西洋建築史/5-初期キリスト教建築・ビザンツ建築 ①キリスト教建築のはじまりと 東ローマの建築	方法：教科書、資料、DVDを使って説明解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習			
6	西洋建築史/6-ロマネスク建築 ①ロマネスク建築の特徴と建築物	方法：教科書、資料、DVDを使って説明解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習			
7	西洋建築史/7-ゴシック建築 ①ゴシック建築の特徴と建築物	方法：教科書、資料、DVDを使って説明解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習			
8	西洋建築史/8-ルネサンス建築 ①ルネサンス建築の時代背景と建築物	方法：教科書、資料、DVDを使って説明解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習			
9	西洋建築史/9-バロック建築 ①バロック建築の特徴とその時代背景、 ②ロココを学ぶ	方法：教科書、資料、DVDを使って説明解説の座学 達成目標：項目①～②を理解する 準備学習：教科書①の予習			
10	西洋建築史/10-新古典主義・歴史主義 ①新古典主義建築の時代背景 ②歴史主義建築	方法：教科書、資料、DVDを使って説明解説の座学 達成目標：項目①～②を理解する 準備学習：教科書①の予習			
11	小テスト①	項目1～10から抜粋し小テストで理解度の確認。解答→解説を行う。			
12	西洋建築史/11-産業革命と建築 ①産業革命による技術革新と「アーツ・アンド・クラフツ」運動	方法：教科書、資料、DVDを使って説明解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習			
13	西洋建築史/12-近代造形運動 ①アールヌーボーと各地の近代造形運動	方法：教科書、資料、DVDを使って説明解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習			
14	西洋建築史/13-モダニズム建築と三大巨匠 ①フランク・ロイド・ライト ②ミース・ファン・デル・ローエ ③レ・コルブジエ	方法：教科書、資料、DVDを使って説明解説の座学 達成目標：項目①～③を理解する 準備学習：教科書①の予習			
15	小テスト②				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
小テスト・映像レポート・授業態度 を総合して評価します。 小テスト①20%、小テスト②20%、映像レポート20% 授業態度40% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		建築設計に必要な知識として建築の成り立ち全般を理解した上で、設計への見聞を広げる。また定期的に小テストを行い習得状況の確認する。また、繰り返し行うことで重要なポイントをしっかりと理解させる。習熟度を上げるために、正解率の低い回答については、十分な解説を行う。			
実務経験教員の経歴 設計業務、インテリアコーディネーターとして8年実務に携わる					

科目名		建築史			
担当教員	熊谷 貴子		実務授業の有無	○	
対象学科	建築デザイン科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	16時間
授業概要、目的、授業の進め方	日本建築の様式変遷と特徴、建築物、建築家を座学と小テスト等で知識を習得する。 1. 日本建築の特徴、条件に合わせた設置計画などの重要性を学ぶ。 2. 講義だけでなく、DVDや写真なども取り入れ、視覚的にも理解を深める。 3. 講義→小テスト→解答→解説→習得を繰り返すことで、知識を習得する。				
学習目標 (到達目標)	西洋の建築物の様式変遷と、その特徴・代表的な建築物・建築家を学び、習得する。建築士2級の筆記試験範囲にあたる科目のため、合格点に達する習熟度を目標とする。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	①図説 建築の歴史 (学芸出版社) ②ipadでの補足資料・映像資料				
NO.	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
	日本建築史				
1	縄文・弥生時代の建築 古代の建築と神社建築の特徴を学ぶ	方法：教科書、資料、DVDを使って説明解説の座学 達成目標：項目①～③を理解する 準備学習：教科書①の予習			
2	飛鳥・奈良時代の建築 仏教建築の伝来とその特徴を学ぶ	方法：教科書、資料、DVDを使って説明解説の座学 達成目標：項目①～②を理解する 準備学習：教科書①の予習			
3	平安時代の建築 平安京と寝殿造りの特徴を学ぶ	方法：教科書、資料、DVDを使って説明解説の座学 達成目標：項目①～②を理解する 準備学習：教科書①の予習			
4	鎌倉時代の建築 仏教建築の展開とその特徴を学ぶ	方法：教科書、資料、DVDを使って説明解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習			
5	室町時代の建築 書院造りのはじまりと特徴を学ぶ	方法：教科書、資料、DVDを使って説明解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習			
6	戦国時代の建築 城郭建築と茶室の特徴を学ぶ	方法：教科書、資料、DVDを使って説明解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習			
7	江戸時代の建築 書院造りの完成と数寄屋を学ぶ	方法：教科書、資料、DVDを使って説明解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習			
8	小テスト①	項目1～7から抜粋し小テストで理解度の確認。解答→解説を行う。 準備学習：項目1～6を教科書、プリントなどで復習			
9	明治時代の建築 西洋建築の輸入と日本人建築家を学ぶ	方法：教科書、資料、DVDを使って説明解説の座学 達成目標：項目①～②を理解する 準備学習：教科書①の予習			
10	大正時代の建築 震災復興とモダニズムの広がりを学ぶ	方法：教科書、資料、DVDを使って説明解説の座学 達成目標：項目①～②を理解する 準備学習：教科書①の予習			
11	昭和の建築 戦後復興と高度成長期の建築を学ぶ	方法：教科書、資料、DVDを使って説明解説の座学 達成目標：項目①～②を理解する 準備学習：教科書①の予習			
12	戦後の建築とポストモダン 世界の建築潮流とポストモダニズムを学ぶ	方法：教科書、資料、DVDを使って説明解説の座学 達成目標：項目①～②を理解する 準備学習：教科書①の予習			
13	小テスト②	項目9～13から抜粋し小テストで理解度の確認。解答→解説を行う。 準備学習：項目8～10を教科書、プリントなどで復習			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
小テスト・映像レポート・授業態度 を総合して評価します。 小テスト①30%、小テスト②30%、映像レポート20% 授業態度20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		建築設計に必要な知識として建築の成り立ち全般を理解した上で、設計への見聞を広げる。また定期的に小テストを行い習得状況の確認する。また、繰り返し行うことで重要なポイントをしっかりと理解させる。習熟度を上げるために、正解率の低い回答については、十分な解説を行う。			
実務経験教員の経歴 設計業務、インテリアコーディネーターとして8年実務に携わる					